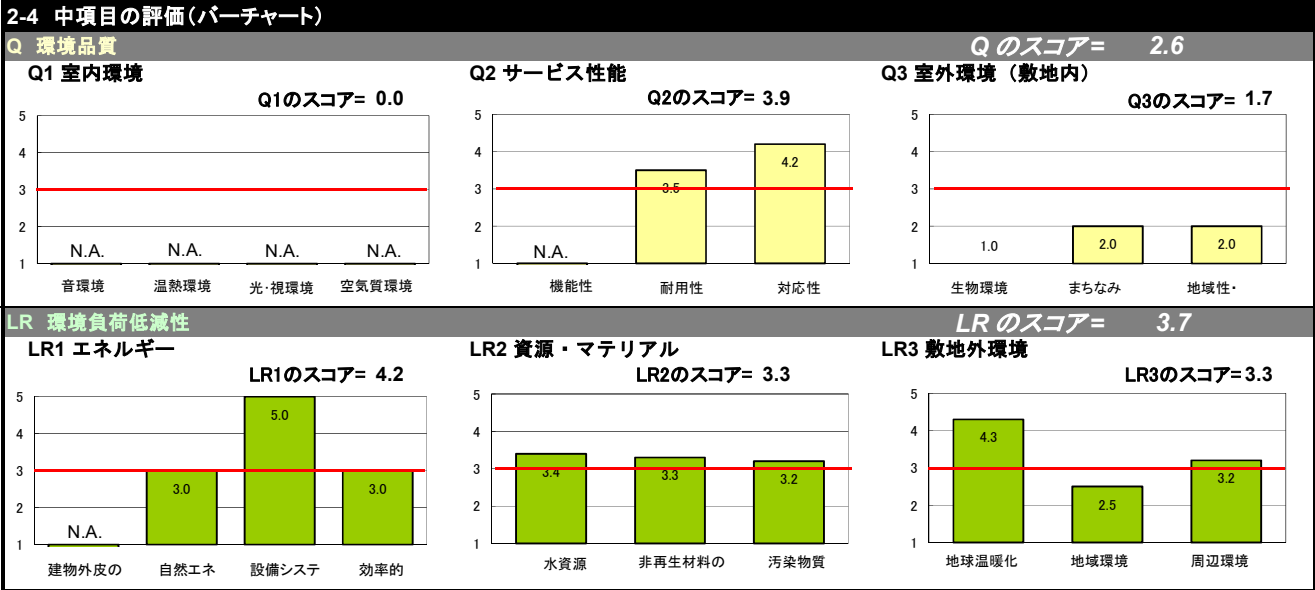
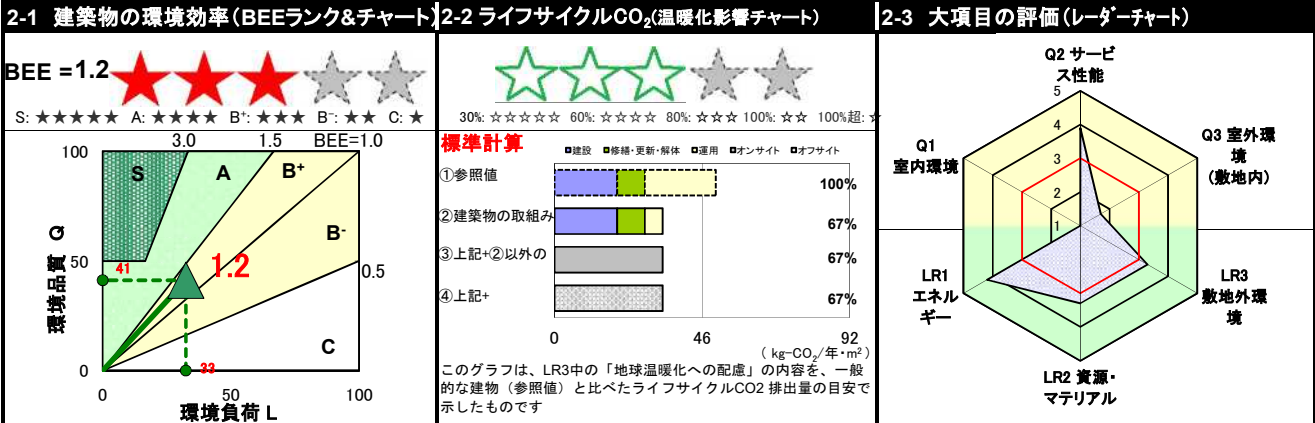


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SITE-7プロジェクト	階数	地上5F
建設地	静岡県浜松市浜名区新都田一丁目	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年3月17日
敷地面積	7,490 m ²	作成者	磯和 孝史
建築面積	4,813 m ²	確認日	
延床面積	17,102 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネに配慮した計画		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
工場のため対象外	階高3.9m以上を確保 壁長さ比率=0.0983により、設備・空間のプランニングの自由度が極めて高い	防犯性に配慮した計画
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギー法における一次エネルギーBEIm=0.25	軽鉄+仕上げ材、配管・配線が躯体及び仕上げ材と分別可能	光害に十分な対策をとり、敷地外への影響の低減を図る

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要

建物名称	SITE-7プロジェクト	BEE	1.2	BEEランク	B+	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5 /5	    	ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.6 /5	    	ふつつ 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5 /5	    	ふつつ 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0 /5	    	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目		
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.5	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要設備機器:パッケージ型空調機(水冷式)を採用	Q-1 2 2.1 2.1.2 Q-1 3 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1 Q-2 2 2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6	①外皮性能 ②昼光利用設備 ③昼光制御 ④躯体材料の耐用年数 ④外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④空調換気ダクトの更新必要間隔 ④空調・給排水配管の更新必要間隔 ④主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数24%確保	Q-3 1 3 3.2	⑤生物環境の保全と創出 ⑥敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨省エネルギー法における一次エネルギーBEIm=0.25	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦建物外皮の熱負荷抑制 ⑧自然エネルギー利用 ⑨設備システムの高効率化 ⑩モニタリング ⑩運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪省水型機器の採用 ⑫軽鉄+仕上げ材、配管・配線が躯体及び仕上げ材と分別可能 ⑬不活性ガス消火剤を使用している。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪節水 ⑪雨水利用システム導入の有無 ⑪雑排水等利用システム導入の有無 ⑪材料使用量の削減 ⑫既存建築躯体等の継続使用 ⑫躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫持続可能な森林から産出された木材 ⑫部材の再利用可能性向上への取組み ⑬有害物質を含まない材料の使用 ⑬消火剤 ⑬断熱材 ⑬冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率67%	LR-3 1 2 2.2	⑭地球温暖化への配慮 ⑮温熱環境悪化の改善	
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	3.6
		■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯重要度係数Z=1.25 ⑰電源設備・精密機械に浸水の危険性がない	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯耐震性 ⑯免震・制振性能 ⑰空調・換気設備 ⑰給排水・衛生設備 ⑰電気設備 ⑰機械・配管支持方法 ⑰通信・情報設備
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.5
		■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高にゆとりがあり、空間形状の自由さがある計画	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱⑲ユニバーサルデザイン計画 ⑲階高のゆとり ⑲空間の形状・自由さ
		■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	㉑地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.0	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	㉒生物環境の保全と創出 ㉓まちなみ・景観への配慮 ㉔敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	㉕持続可能な森林から産出された木材 ㉖温熱環境悪化の改善	